



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月30日

上場会社名 株式会社極楽湯 上場取引所 東  
 コード番号 2340 URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新川 隆丈  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 松本 俊二 (TEL) 03-5275-0580  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	3,642	30.5	226	—	250	—	173	—
27年3月期第1四半期	2,791	20.4	8	—	△35	—	△88	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 297百万円(—%) 27年3月期第1四半期 △145百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	13.61	12.14
27年3月期第1四半期	△7.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	16,754	—	6,253	—	28.9	—
27年3月期	16,385	—	6,020	—	28.8	—

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 4,837百万円 27年3月期 4,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	13,700	13.7	320	71.2	310	51.7	140	25.9	10.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 一社 、除外 一社(社名) 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	13,710,400株	27年3月期	13,670,900株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	917,675株	27年3月期	917,675株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	12,755,395株	27年3月期1Q	11,310,109株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に、全体としては緩やかな回復基調が見られました。一方、中国の経済成長鈍化等、海外景気がわが国の景気に影響を与える懸念があり、株価や為替が不安定な状況で推移しました。

温浴業界におきましては、消費者の節約志向や低価格志向が引き続きみられる一方で、「安・近・短」の手軽なレジャーとしてのニーズは底堅いものがあります。しかしながら、エネルギーや原材料をはじめとする諸コストの増大など厳しい経営環境が続いております。更に、東京オリンピック開催を控え建設費は高止まりしており、顧客満足度向上のための改装・改築を含む各種設備投資にかかるコストも増大傾向にあります。お客様の多様なニーズに対応できる企業としての総合力がより一層求められております。

このような状況の中、当社グループは、海外では海外2号店「極楽湯 金沙江温泉館」(中国上海市)をオープンいたしました。また、国内では経営資源の有効活用や活性化並びに生産性の向上を図るべく、店舗の譲渡や増改築、人事制度改革等を実施いたしました。まさに、お客様のニーズの変化をいち早く感じとり迅速に対応できる企業として、総合力を強く意識したうえで、より一層の安心・安全そして高品質なサービスを提供することに取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,642百万円(前年同期比30.5%増)、営業利益は226百万円(前年同期営業利益8百万円)、経常利益は250百万円(前年同期経常損失35百万円)、四半期純利益は173百万円(前年同期四半期純損失88百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

#### ① 日本

当セグメントにおきましては、売上高2,537百万円(前年同期比15.0%増)、セグメント損失(営業損失)は9百万円(前年同期セグメント損失128百万円)となりました。

当社の業績は、家族や人が集まるお盆や年末年始等の休暇に加え、台風やゲリラ豪雨や猛暑や大雪等の天候や気温に影響される等、季節的要因により変動する傾向があります。また、第1四半期(4月～6月)は、通期でみると例年収益状況が厳しい時期であります。

当第1四半期は、彦根店(滋賀県)の改装に伴う長期休業や大和樫原店(奈良県)の譲渡による売上高の減少はあった一方で、昨年8月に新規オープンした「RAKU SPA鶴見」の売上が寄与したことに加え、効果的な施策を積極的に実施したことで既存店の集客増そして売上回復につながったことから、前年同期と比較して売上高は増加しました。また、セグメント損失(営業損失)も改善し、9百万円のセグメント損失となりました。

#### ② 中国

当セグメントにおきましては、売上高1,122百万円(前年同期比89.8%増)、セグメント利益(営業利益)は274百万円(前年同期比50.5%増)となりました。

中国における業績も国内と同様に季節的要因による変動があり、通期でみると第1四半期(1月～3月)は気温が低く大型連休となる春節(旧正月)もあるため収益が最も期待できる時期であります。

当第1四半期は、海外1号店「極楽湯 碧雲温泉館」(中国上海市)の業績が前年同期を上回り好調であったことに加え、今年2月にオープンした海外2号店「極楽湯 金沙江温泉館」(中国上海市)が1号店との相乗効果もありオープン当初より大盛況となったことから業績は順調に推移し、売上高、利益ともに大幅に増加いたしました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ369百万円増加し16,754百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が1,330百万円、工具、器具及び備品が164百万円増加し、建設仮勘定が1,095百万円減少したことによるものであります。

次に、負債合計は、前連結会計年度末に比べ136百万円増加し10,501百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ232百万円増加し6,253百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、28.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、当初の計画通り順調に推移しております。しかしながら、中国においては季節的変動による収益減少や株価下落（上海株式市場）を起因とする景気の冷え込み等不透明な状況があり、国内においては今後も既存店の改装計画等があることから、平成27年5月15日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

平成28年3月期第2四半期の連結業績予想につきましても、上記のとおり、当社グループ業績に与える影響を現段階で見通すことが難しいため、未定としております。今後、慎重に精査した上で数値がまとまり次第、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,932,834	3,807,026
売掛金	132,953	112,095
未収入金	6,370	11,565
たな卸資産	64,211	87,632
繰延税金資産	38,595	32,512
その他	162,489	247,101
流動資産合計	4,337,454	4,297,932
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,868,208	9,198,979
工具、器具及び備品(純額)	427,105	591,531
土地	182,051	182,051
リース資産(純額)	1,217	340
建設仮勘定	1,172,060	76,597
有形固定資産合計	9,650,643	10,049,500
無形固定資産	217,386	236,282
投資その他の資産		
投資有価証券	28,740	29,660
長期貸付金	78,073	73,979
繰延税金資産	481,220	483,077
敷金及び保証金	871,260	850,024
その他	633,963	617,336
貸倒引当金	△4,500	△4,500
投資その他の資産合計	2,088,757	2,049,578
固定資産合計	11,956,787	12,335,360
繰延資産	91,385	121,677
資産合計	16,385,627	16,754,970

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	365,791	329,155
短期借入金	200,000	100,000
1年内償還予定の社債	115,400	115,400
1年内返済予定の長期借入金	2,034,328	1,929,678
未払金	386,691	595,076
未払法人税等	127,617	113,494
前受金	908,670	894,762
賞与引当金	72,254	53,225
その他	375,184	420,817
流動負債合計	4,585,937	4,551,610
固定負債		
社債	227,500	227,500
長期借入金	4,690,690	4,826,108
退職給付に係る負債	96,550	95,279
資産除去債務	478,013	453,321
その他	286,439	347,822
固定負債合計	5,779,193	5,950,031
負債合計	10,365,131	10,501,641
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,350,759	2,356,423
資本剰余金	2,396,797	2,325,942
利益剰余金	45,266	218,827
自己株式	△356,138	△356,138
株主資本合計	4,436,684	4,545,054
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,209	△289
為替換算調整勘定	287,832	292,986
その他の包括利益累計額合計	286,622	292,697
新株予約権	52,049	52,766
非支配株主持分	1,245,139	1,362,810
純資産合計	6,020,496	6,253,328
負債純資産合計	16,385,627	16,754,970

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,791,545	3,642,850
売上原価	2,527,470	3,123,193
売上総利益	264,074	519,656
販売費及び一般管理費	255,379	293,568
営業利益	8,695	226,088
営業外収益		
受取利息	3,519	3,875
受取家賃	4,725	5,032
為替差益	-	15,907
協賛金収入	-	20,574
その他	6,228	13,763
営業外収益合計	14,473	59,153
営業外費用		
支払利息	24,700	25,370
為替差損	26,908	-
その他	6,980	9,467
営業外費用合計	58,589	34,838
経常利益又は経常損失(△)	△35,419	250,403
特別利益		
固定資産売却益	-	77,362
資産除去債務戻入益	-	22,163
新株予約権戻入益	4,652	3,431
人事制度変更に伴う利益	-	22,602
特別利益合計	4,652	125,559
特別損失		
固定資産除却損	198	2,555
契約解約損	-	3,950
特別損失合計	198	6,506
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△30,965	369,456
法人税、住民税及び事業税	23,325	78,922
法人税等調整額	34,523	4,253
法人税等合計	57,848	83,175
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88,814	286,280
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	112,719
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△88,814	173,561



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△88,814	286,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△135	920
為替換算調整勘定	△56,787	10,106
その他の包括利益合計	△56,922	11,026
四半期包括利益	△145,737	297,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△145,737	179,635
非支配株主に係る四半期包括利益	-	117,671

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,200,495	591,049	2,791,545	—	2,791,545
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,322	—	6,322	△6,322	—
計	2,206,818	591,049	2,797,867	△6,322	2,791,545
セグメント利益又は損失(△)	△128,114	182,415	54,300	△45,605	8,695

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△45,605千円は、セグメント間取引消去11,262千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,867千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第1四半期連結累計期間には、平成26年1月1日から平成26年3月31日までの業績が反映されております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額(注)	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,520,758	1,122,091	3,642,850	—	3,642,850
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,856	—	16,856	△16,856	—
計	2,537,615	1,122,091	3,659,707	△16,856	3,642,850
セグメント利益又は損失(△)	△9,155	274,517	265,361	△39,273	226,088

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△39,273千円は、セグメント間取引消去17,374千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△56,647千円であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 報告セグメント「中国」の連結子会社の決算日は12月31日であるため、当第1四半期連結累計期間には、平成27年1月1日から平成27年3月31日までの業績が反映されております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。